

# 福島県海域におけるメバルの生態 および漁業実態の解明

福島県水産試験場相馬支場  
平成14年福島県水産試験場事業報告書

## 1 部門名

水産業－資源管理－メバル  
分類コード 19-04-4800000

## 2 担当者

根本芳春・石田敏則

## 3 要旨

- (1) 水揚げされたメバルの耳石から年齢と全長の関係を整理し、雌雄別の成長式を求めた。雌雄とも満2歳で全長約16cm、3歳で20cm、4歳で22cmとなるが、その後は雌雄間で成長差がみられ、雄よりも雌の成長が早いことがわかった。
- (2) 生殖腺の月別・熟度別割合の推移から、メバルの産仔期は12～2月であることが推測された。
- (3) 福島県における近年のメバルの漁獲量は、平成元年～平成7年までは200トン前後であったが、8年以降は減少し100トン前後で推移している。平成14年の漁獲量は86トン、金額で150百万円であった。漁業種類別では固定式さし網の割合が50%と最も高く、ついで一本釣りが38%、底びき網が6%であった。地域別では相馬が86%、双葉が11%、いわきが3%であった。
- (4) 相馬原釜魚市場に水揚げされたメバルの全長を測定した結果、13～34cmの範囲にあり、20cm前後が最も多かった。
- (5) 全長別年齢組成 (Age-length-key) を整理し、市場での全長組成から年齢別漁獲尾数を推定した結果、1歳から漁獲されるものの、その割合は数%と低く、最も多かったのは2歳魚の約50%、次いで3歳魚の約30%であった。

## 4 その他の資料等

なし